



## お客様の節約志向に対応した“生活応援型”ディスカウントストア 2号店 **11/14(金) 『ザ・プライス川口店』 開店** ～ 取扱いを食料品に特化し、徹底したローコスト運営と低価格を実現～

株式会社イトーヨーカ堂（東京都千代田区、代表取締役社長：亀井 淳）は、イトーヨーカドー川口駅前店（11/10 閉店）のリニューアルを機に業態変更し、ディスカウントストア事業の2号店『ザ・プライス川口店』（埼玉県川口市）として、2008年11月14日（金）午前10時にオープンいたします。

『ザ・プライス川口店』は、食料品等の相次ぐ物価上昇によって消費の低空飛行が続く中、益々強まっているお客様の節約志向にお応えするため、毎日の暮らしに密着した食料品をリーズナブルプライスでご提供する“生活応援型”ディスカウントストアです。単なる価格の安さだけでなく「品質・付加価値が高く、安全・安心な商品ができるだけお得に、しかも無駄なく購入したい」という、今のお客様のニーズに的確にお応えしてまいります。

セブン&アイ HLDGS.の新たな業態開発として、本年8月にディスカウント事業1号店「ザ・プライス西新井店」をオープンして以来、地域のお客様から多大なご支持をいただいております。更なる高まりを見せる節約志向に対応するため、このたび、ディスカウント事業の多店舗展開を決定いたしました。

### 【『ザ・プライス川口店』の商品構成、価格帯について】

- ・ 生鮮品（青果、精肉、鮮魚）、惣菜、日配品、一般食品、酒類等、日々の購入頻度が高い食料品に特化したディスカウントストア
- ・ 旧店（イトーヨーカドー川口駅前店）より、扱い商品数を半分程度（約3,500品目）まで絞り込み、プライベートブランド「セブンプレミアム」も品揃え（約300品目）
- ・ チラシの配布回数を従来より削減し（週3回程度 週1回）、売場装飾等を大幅に減らすことで、販促コストを削減

### 【各売場の特徴】

- ・ 青果売場や鮮魚売場では、標準品の他に、形は不揃いながらも品質は確かな「規格外」の野菜や魚介類を、契約産地や市場より直接買い付けし、流通コストを削減
- ・ 精肉売場では、産地を指定した黒毛和牛や鹿児島県産黒豚を、一頭丸ごと仕入れることでロス削減し、肉質や霜降り等の品質にも拘りつつ低価格を実現
- ・ 加工食品では、調味料・飲料・即席めん等、毎日のご利用頻度が高い商品を中心に、イトーヨーカドー価格より平均で価格帯を約1～3割程度安く設定
- ・ 駅前立地商圈に対応し、簡便メニューの品揃えを拡充（洋風軽食、レトルト食材等）

## 【店舗概要】

- ・ 店舗名称 : 『ザ・プライス川口店』
- ・ 所在地 : 埼玉県川口市栄町 3-14-15
- ・ 開店日時 : 2008年11月14日(金)午前10時
- ・ 店長 : 有馬 隆 (ありま たかし) 前 イトーヨーカドー川口駅前店長
- ・ 営業時間 : 10:00 ~ 22:00 (通年営業)
- ・ 面積 : (敷地面積) 約 2,765 m<sup>2</sup> (自営売場面積) 約 1,590 m<sup>2</sup>
- ・ フloor構成 : 地上5階建て  
1階フロア : 『ザ・プライス川口店』  
2~5階 : 専門店テナント部分(8店舗)
- ・ 取扱商品 : 生鮮品、惣菜、日配品、一般食品、酒類等の食料品(一部住関連品あり)
- ・ 従業員数 : 計69名(社員11名、パート社員58名)
- ・ 売上目標 : 約30億円(初年度計画)
- ・ 商圈設定 : 半径1km圏、約2.5万世帯・5.6万人

### < 店舗周辺図 >



以上